



2023年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)

2023年5月15日

上場会社名 株式会社ハルメクホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7119 URL <http://halmek-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮澤 孝夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 石井 文範 (TEL) 03(6272)8222
 定時株主総会開催予定日 2023年6月28日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上収益 | | 営業利益 | | 税引前利益 | | 当期利益 | | 親会社の所有者に帰属する当期利益 | | 当期包括利益合計額 | |
|----------|--------|------|-------|------|-------|------|-------|------|------------------|------|-----------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期 | 28,738 | 13.9 | 2,030 | 49.5 | 1,864 | 59.0 | 1,248 | 56.8 | 1,248 | 56.8 | 1,248 | 56.8 |
| 2022年3月期 | 25,233 | — | 1,358 | — | 1,172 | — | 796 | — | 796 | — | 796 | — |

| | 基本的1株当たり当期利益 | 希薄化後1株当たり当期利益 | 親会社所有者帰属持分当期利益率 | 資産合計税引前利益率 | 売上高営業利益率 |
|----------|--------------|---------------|-----------------|------------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2023年3月期 | 155.05 | 147.16 | 30.1 | 9.0 | 7.1 |
| 2022年3月期 | 99.51 | 94.38 | 55.8 | 6.5 | 5.4 |

(参考) 持分法による投資損益 2023年3月期 一百万円 2022年3月期 一百万円

(注) 1. 2022年3月期における対前期増減率については、2021年3月期が2020年8月4日より2021年3月31日までであることから記載していません。

2. 当社は2022年8月3日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行いました。2022年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益を算出しております。

(2) 連結財政状態

| | 資産合計 | 資本合計 | 親会社の所有者に帰属する持分 | 親会社所有者帰属持分比率 | 1株当たり親会社所有者帰属持分 |
|----------|--------|-------|----------------|--------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期 | 23,097 | 6,482 | 6,482 | 28.1 | 633.81 |
| 2022年3月期 | 18,304 | 1,823 | 1,823 | 10.0 | 227.81 |

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|----------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2023年3月期 | 2,260 | △464 | 2,275 | 5,036 |
| 2022年3月期 | 881 | △773 | △978 | 964 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額(合計) | 配当性向(連結) | 親会社所有者帰属持分配当率(連結) |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|-----------|----------|-------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2022年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |
| 2023年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |
| 2024年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |

(注) 2023年3月期期末配当金の内訳 記念配当 一 特別配当 一

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 税引前利益 | | 当期利益 | | 親会社の所有者に 帰属する当期利益 | | 基本的1株当たり 当期利益 |
|-----------|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|------------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 15,000 | 9.9 | 740 | △18.7 | 600 | △26.8 | 400 | △27.1 | 400 | △27.1 | 39.13 |
| 通期 | 32,000 | 11.4 | 2,250 | 10.8 | 2,100 | 12.7 | 1,400 | 12.2 | 1,400 | 12.2 | 136.95 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）—、除外 一社（社名）—

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年3月期 | 10,222,000株 | 2022年3月期 | 8,000,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期 | —株 | 2022年3月期 | —株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2023年3月期 | 8,054,789株 | 2022年3月期 | 8,000,000株 |

(注) 当社は2022年8月3日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行いました。2022年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算出しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績（％表示は対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|----------------|------|-----------------------|-------|------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期 | 1,764 | 87.9 | △36 | 200.0 | △59 | △107.3 | 0 | △100.0 |
| 2022年3月期 | 939 | — | △12 | — | 813 | — | 2,054 | — |
| | 1株当たり 当期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | | | | | |
| | 円 銭 | | 円 銭 | | | | | |
| 2023年3月期 | 0.05 | | 0.05 | | | | | |
| 2022年3月期 | 256.86 | | 243.61 | | | | | |

(注) 1. 2022年3月期における対前期増減率については、2021年3月期が2020年8月4日より2021年3月31日までであることから記載しておりません。

2. 当社は2022年8月3日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行いました。2022年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算出しております。

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|----------|--------|-------|-------|------|--------|-----|----------|--|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 | 円 銭 | |
| 2023年3月期 | 11,116 | 4,847 | 4,847 | 43.6 | 474.20 | | | |
| 2022年3月期 | 8,152 | 2,429 | 2,429 | 29.8 | 178.57 | | | |

(参考) 自己資本 2023年3月期 4,843百万円 2022年3月期 2,428百万円

(注) 1株当たり純資産については、優先株主への残余財産分配額を控除して計算しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関連する事項については添付資料の4ページをご参照ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結財政状態計算書 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 連結持分変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (セグメント情報) | 11 |
| (1株当たり情報) | 13 |
| (重要な後発事象) | 14 |

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大があったものの、ウィズコロナの生活様式が浸透してきたことや、水際対策の大幅な緩和を受けたインバウンド消費の高まりなどを受け、国内消費に持ち直しの兆しが見られました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化や、急激な円安の進行により、原材料やエネルギー価格及び物流コストの高騰を背景とした物価上昇が加速しており、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、雑誌「ハルメク」で多くの新規読者を獲得できる特集が増えてきたことや、2022年1月および5月の雑誌「ハルメク」編集長TV出演の後押しを受け、前期に引き続き読者数を大きく伸ばしております。その結果、2022年1月～6月における一般社団法人日本ABC協会「発行社レポート」において、コミック誌を除く雑誌全体の販売部数で1位（44万部）を獲得いたしました。更にその後も順調に読者数を伸ばしており、2022年12月号においては定期購読者数が初めて50万人を突破するなど、好調に推移しております。

また物販におきましても、「ものは少なく、暮らしは豊かに♪」という通販コアバリューを新たに定め、「ハルメク通販5つのお約束」に沿った商品をお客様にお届けすることで、売上を伸ばしております。

通販コアバリュー（ハルメク通販5つのお約束）：ものは少なく、暮らしは豊かに♪

- ① たくさんの商品から選んで頂くのではなく、「最もいいものだけ」をご提案します。
- ② 50代からの女性が「これがほしかった」と思える唯一無二のものを作ります。
- ③ 「安心して長く使える」ように、ハルメク基準で厳しく品質管理します。
- ④ 売ったら終わりではなく、皆さまのお声で改良。「ずっとご愛用いただける」ように。
- ⑤ 「もったいない」の気持ちを大切に、使わなくなったものは社会と環境のために役立てます。

上記通販コアバリューに基づき生み出した商品は、雑誌「ハルメク」読者への販売のほか、新聞広告や自社ECサイトを通じて読者以外のお客様への販売を増やすことにも成功しております。また、新型コロナウイルス感染症影響の軽減により店舗への来店客も大きく増加し、売上を順調に伸ばしております。新型コロナウイルス感染症に関わる行動制限の解除を受け、リアルイベントを再開し、直接お客様にハルメクの世界観を体験頂ける機会が増加してきたことだけでなく、コロナ禍の行動制限下において培った充実したオンラインイベント、リアルイベントとオンラインイベントを組み合わせたハイブリッド型のイベントなども実施し、ご好評を頂いております。

さらに8月にはWeb新サービス「ハルメク365」をリリースしております。「ハルメク365」は「観る・聴く・学ぶ・つながる」をテーマに、24時間・365日いつでもどこでも楽しめる月額定額制のサービスです。これまで雑誌で提供していた「読んで役立つ」コンテンツに加え、ファッション・美容・料理レシピ・脳トレ・エクササイズなど、毎日が楽しくなる動画を大幅に追加しております。そのほか、雑誌「ハルメク」の人気講師陣によるリアル&オンライン講座も毎月開催するなど、文字通り365日飽きることなく楽しめるコンテンツ作りに取り組んでおります。

以上の結果、当連結会計年度の売上収益は、28,738百万円（前年同期比3,505百万円増、13.9%増）、営業利益は、2,030百万円（前年同期比672百万円増、49.5%増）、税引前利益は、1,864百万円（前年同期比692百万円増、59.0%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益は、1,248百万円（前年同期比452百万円増、56.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上収益及びセグメント利益又は損失は社内の迅速な意思決定に資するため、会計処理の一部について、IFRSと異なる処理を採用しております。

<ハルメク事業>

当連結会計年度においては、深い顧客理解に基づく読者に寄り添った誌面作りに加え、TV放映の後押しも受け、雑誌「ハルメク」の読者数を大きく伸ばしたこと、通販コアバリューに沿った、ライフスタイル提案としての商品提供が進んだこと、個別商品の新聞広告により読者以外の顧客獲得も大きく伸ばしたことなどから、売上を大きく伸ばすことができました。また販売費及び一般管理費についても、値上げ局面のなかで適切に抑制できたことによ

り、セグメント利益につきましても大幅に増加しております。

以上の結果、売上収益は22,056百万円（前年同期比3,277百万円増、17.5%増）、セグメント利益は1,448百万円（前年同期比681百万円増、88.8%増）となりました。

<全国通販事業>

当連結会計年度においては、アパレルを中心に魅力的なオリジナル商品を増やしたことと、積極的な新聞広告投資を行ったことにより、顧客数は順調に増加し、売上も伸ばすことができました。一方、今後の事業成長に向け、新規顧客獲得に向けた新聞広告投資を進めたことから、セグメント利益は前年同期比で減少しております。

以上の結果、売上収益は7,007百万円（前年同期比250百万円増、3.7%増）、セグメント利益は87百万円（前年同期比10百万円減、10.3%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び資本の状況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ4,793百万円増加し23,097百万円となりました。

流動資産は4,437百万円増加し、9,280百万円となりました。主な要因は、東京証券取引所グロース市場への上場に伴う新株発行等による現金及び現金同等物の増加4,072百万円であります。

非流動資産は356百万円増加し、13,816百万円となりました。主な要因は使用権資産の増加333百万円等でありま

す。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ134百万円増加し16,614百万円となりました。

流動負債は1,977百万円増加し、10,232百万円となりました。主な要因は、営業債務及びその他の債務の増加363百万円、契約負債の増加103百万円、未払法人所得税の増加272百万円、償還による償還条項付優先株式の減少1,030百万円、非流動負債からの振替による借入金の増加2,103百万円等であります。営業債務及びその他の債務の増加は、売上の増加に伴うものであります。また、契約負債の増加は、雑誌「ハルメク」読者数の増加による定期購読に係る対価の前受金の増加に伴うものであります。

非流動負債は1,844百万円減少し、6,381百万円となりました。主な要因は、流動負債への振替による借入金の減少1,908百万円等であります。

(資本)

当連結会計年度末における資本合計は、前連結会計年度末と比べ4,659百万円増加し6,482百万円となりました。

主な要因は、東京証券取引所グロース市場への上場に伴う新株発行等により資本金が1,758百万円、資本剰余金が1,649百万円増加したこと、及び親会社の所有者に帰属する当期利益1,248百万円の計上によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ4,071百万円増加し、5,036百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は2,260百万円（前年同期は881百万円の獲得）となりました。主な増加要因は、税引前期利益1,864百万円（前年同期比692百万円増）、営業債務及びその他の債務の増加額363百万円（前年同期は△119百万円）、減価償却費及び償却費673百万円（前年同期は628百万円）、法人所得税の還付額193百万円（前年同期は26百万円）等であり、主な減少要因は営業債権の増加額141百万円（前年同期は147百万円）、法人所得税の支払額572百万円（前年同期は549百万円）等であります。いずれも、前年同期との主な変動要因は売上の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は464百万円（前年同期は773百万円の使用）となりました。主な内訳は、基幹システムの更新に伴う無形資産の取得による支出376百万円（前年同期は600百万円）、有形固定資産の取得による支出32百万円（前年同期は103百万円）等であります。前年同期との主な変動要因は、前年同期において大きなシステム投資やオフィスの増床を行ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は2,275百万円（前年同期は978百万円の使用）となりました。支出の内訳は、償還条項付優先株式の償還による支出1,000百万円（前年同期の支出はありません）、短期借入金の返済による支出830百万円（前年同期の支出はありません）、リース負債の返済による支出408百万円（前年同期は382百万円）、長期借入金の返済による支出402百万円（前年同期は838百万円）等であり、収入の内訳は、株式の発行による収入3,516百万円（前年同期の収入はありません）、長期借入れによる収入1,000百万円（前年同期の収入はありません）、短期借入れによる収入400百万円（前年同期は242百万円）であります。

(4) 今後の見通し

(%表示は、対前期増減率)

| 売上収益 | | 営業利益 | | 税引前利益 | | 親会社の所有者に 帰属する当期利益 | | 基本的1株当たり 当期利益 |
|--------|------|-------|------|-------|------|----------------------|------|------------------|
| 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 32,000 | 11.4 | 2,250 | 10.8 | 2,100 | 12.7 | 1,400 | 12.2 | 136.95 |

① 売上収益予想の背景・変動要因

次期の連結売上収益は、当連結会計年度比11.4%増の32,000百万円を予想しております。2023年3月期は魅力的なコンテンツの充実や2022年1月におけるTV放映の影響などにより、雑誌「ハルメク」の読者数を大きく伸ばしております。この顧客数をベースに、次期においても新規読者および読者への物販売上を中心に、引き続き売上を伸ばすことを見込んでおります。

なお、当連結会計年度においては、新型コロナウイルス感染症によるマイナス影響は一部店舗などに限定され、増収要因がこれを上回りました。現段階では、次期においても同様の事業環境を想定しておりますが、感染拡大による企業活動の制約が強まる等、当社グループの経営成績に影響を与える可能性があります。

② 利益予想の背景・変動要因

次期においては、新規上場に伴う知名度・信用力の向上を生かした人材投資を積極的に行う方針であります。具体的には、売上増加及び新規事業拡大に対応する社内体制・人材の強化を進めているほか、既存社員の待遇改善を進めております。結果、労務費・人件費の増加を見込んでいるほか、用紙印刷代や商品仕入れ価格の高騰により、売上原価、販売費及び一般管理費の増加を見込んでおりますが、コストの増加を上回る売上の大幅な増加を予想しているため、営業利益は当連結会計年度比10.8%増の2,250百万円、税引前利益は当連結会計年度比12.7%増の2,100百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益は当連結会計年度比12.2%増の1,400百万円と見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性及び利便性の向上を図るため、2022年3月期より、国際会計基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当連結会計年度 (2023年3月31日) |
|-----------|-------------------------|-------------------------|
| | 百万円 | 百万円 |
| 資産 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び現金同等物 | 964 | 5,036 |
| 営業債権 | 1,407 | 1,545 |
| 棚卸資産 | 1,796 | 2,295 |
| 未収法人所得税 | 193 | 0 |
| その他の流動資産 | 481 | 402 |
| 流動資産合計 | 4,843 | 9,280 |
| 非流動資産 | | |
| 有形固定資産 | 224 | 222 |
| 使用権資産 | 1,999 | 2,332 |
| のれん | 4,452 | 4,452 |
| 無形資産 | 6,291 | 6,291 |
| 繰延税金資産 | 138 | 146 |
| その他の金融資産 | 238 | 279 |
| その他の非流動資産 | 115 | 92 |
| 非流動資産合計 | 13,460 | 13,816 |
| 資産合計 | 18,304 | 23,097 |

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当連結会計年度 (2023年3月31日) |
|------------------|-------------------------|-------------------------|
| | 百万円 | 百万円 |
| 負債及び資本 | | |
| 負債 | | |
| 流動負債 | | |
| 借入金 | 799 | 2,902 |
| 償還条項付優先株式 | 1,030 | — |
| 営業債務及びその他の債務 | 2,827 | 3,190 |
| 契約負債 | 2,210 | 2,313 |
| リース負債 | 391 | 326 |
| 未払法人所得税 | 291 | 563 |
| その他の流動負債 | 704 | 936 |
| 流動負債合計 | 8,255 | 10,232 |
| 非流動負債 | | |
| 借入金 | 4,774 | 2,866 |
| リース負債 | 1,752 | 2,030 |
| 引当金 | 92 | 91 |
| 繰延税金負債 | 1,604 | 1,392 |
| その他の金融負債 | 1 | 0 |
| 非流動負債合計 | 8,225 | 6,381 |
| 負債合計 | 16,480 | 16,614 |
| 資本 | | |
| 資本金 | 10 | 1,768 |
| 資本剰余金 | 364 | 2,013 |
| その他の資本の構成要素 | 0 | 4 |
| 利益剰余金 | 1,448 | 2,697 |
| 親会社の所有者に帰属する持分合計 | 1,823 | 6,482 |
| 非支配持分 | — | — |
| 資本合計 | 1,823 | 6,482 |
| 負債及び資本合計 | 18,304 | 23,097 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

| | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| | (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
| | 百万円 | 百万円 |
| 売上収益 | 25,233 | 28,738 |
| 売上原価 | 10,942 | 12,600 |
| 売上総利益 | 14,290 | 16,138 |
| 販売費及び一般管理費 | 12,950 | 14,096 |
| その他の収益 | 55 | 18 |
| その他の費用 | 37 | 28 |
| 営業利益 | 1,358 | 2,030 |
| 金融収益 | 0 | 0 |
| 金融費用 | 186 | 166 |
| 税引前利益 | 1,172 | 1,864 |
| 法人所得税費用 | 376 | 615 |
| 当期利益 | 796 | 1,248 |
| 当期利益の帰属 | | |
| 親会社の所有者 | 796 | 1,248 |
| 非支配持分 | △0 | — |
| 当期利益 | 796 | 1,248 |
| 1株当たり当期利益 | | |
| 基本的1株当たり当期利益(円) | 99.51 | 155.05 |
| 希薄化後1株当たり当期利益(円) | 94.38 | 147.16 |

連結包括利益計算書

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|-------------|--|--|
| | 百万円 | 百万円 |
| 当期利益 | 796 | 1,248 |
| 当期包括利益 | 796 | 1,248 |
| 当期包括利益合計の帰属 | | |
| 親会社の所有者 | 796 | 1,248 |
| 非支配持分 | △0 | - |
| 当期包括利益 | 796 | 1,248 |

(3) 連結持分変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

| | 親会社の所有者に帰属する持分 | | | | | 合計 | 非支配持分 | 合計 |
|-----------------|----------------|-----------|-----------------|----|-----------|-------|-------|-------|
| | 資本金 | 資本 剰余金 | その他の資本の 構成要素 | | 利益 剰余金 | | | |
| | | | 新株予約権 | 合計 | | | | |
| 2021年4月1日時点の残高 | 266 | 534 | — | — | 229 | 1,030 | △0 | 1,030 |
| 当期利益 | — | — | — | — | 796 | 796 | △0 | 796 |
| 当期包括利益合計 | — | — | — | — | 796 | 796 | △0 | 796 |
| 株式に基づく報酬取引 | — | — | 0 | 0 | — | 0 | — | 0 |
| 非支配持分の取得 | — | △0 | — | — | — | △0 | 0 | △0 |
| 減資 | △256 | 256 | — | — | — | — | — | — |
| 利益剰余金への振替 | — | △426 | — | — | 426 | — | — | — |
| その他変動額 | — | — | — | — | △3 | △3 | — | △3 |
| 所有者との取引額等合計 | △256 | △170 | 0 | 0 | 422 | △3 | 0 | △3 |
| 2022年3月31日時点の残高 | 10 | 364 | 0 | 0 | 1,448 | 1,823 | — | 1,823 |

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

| | 親会社の所有者に帰属する持分 | | | | | 合計 | 非支配持分 | 合計 |
|-----------------|----------------|-----------|-----------------|----|-----------|-------|-------|-------|
| | 資本金 | 資本 剰余金 | その他の資本の 構成要素 | | 利益 剰余金 | | | |
| | | | 新株予約権 | 合計 | | | | |
| 2022年4月1日時点の残高 | 10 | 364 | 0 | 0 | 1,448 | 1,823 | — | 1,823 |
| 当期利益 | — | — | — | — | 1,248 | 1,248 | — | 1,248 |
| 当期包括利益合計 | — | — | — | — | 1,248 | 1,248 | — | 1,248 |
| 株式に基づく報酬取引 | — | — | 3 | 3 | — | 3 | — | 3 |
| 新株の発行 | 1,758 | 1,649 | — | — | — | 3,407 | — | 3,407 |
| その他変動額 | — | △0 | — | — | 0 | — | — | — |
| 所有者との取引額等合計 | 1,758 | 1,648 | 3 | 3 | 0 | 3,410 | — | 3,410 |
| 2023年3月31日時点の残高 | 1,768 | 2,013 | 4 | 4 | 2,697 | 6,482 | — | 6,482 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

| | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|-------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| | (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
| | 百万円 | 百万円 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前利益 | 1,172 | 1,864 |
| 減価償却費及び償却費 | 628 | 673 |
| 金融費用 | 186 | 166 |
| 営業債権の増減額 (△は増加) | △147 | △141 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △353 | △499 |
| 営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少) | △119 | 363 |
| 契約負債の増減額 (△は減少) | 345 | 102 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △95 | 185 |
| その他 | △139 | 71 |
| 小計 | 1,478 | 2,786 |
| 利息及び配当金の受取額 | 0 | 0 |
| 利息及び優先配当金の支払額 | △74 | △146 |
| 法人所得税の還付額 | 26 | 193 |
| 法人所得税の支払額 | △549 | △572 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 881 | 2,260 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △103 | △32 |
| 無形資産の取得による支出 | △600 | △376 |
| その他 | △69 | △55 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △773 | △464 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 242 | 400 |
| 短期借入金の返済による支出 | — | △830 |
| 長期借入れによる収入 | — | 1,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △838 | △402 |
| 株式の発行による収入 | — | 3,516 |
| 償還条項付優先株式の償還による支出 | — | △1,000 |
| リース負債の返済による支出 | △382 | △408 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △978 | 2,275 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △870 | 4,071 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,835 | 964 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 964 | 5,036 |

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

（1）報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは「ハルメク事業」及び「全国通販事業」の2つの事業を事業セグメント及び報告セグメントとしております。当社グループでは、これらの報告セグメントに属するサービスの全て又はその一部を行う単位で株式会社として組織化しており、各セグメントに属する組織の財務情報を集計することによって、各報告セグメントを評価しております。

各報告セグメントに属するサービスは下記のとおりであります。

| 報告セグメント | 主要な製品及びサービス |
|---------|--|
| ハルメク事業 | シニア女性向け雑誌「ハルメク」の出版・通信販売事業「ハルメク」・広告事業・イベント等の文化事業・新聞単品外販・店舗等 |
| 全国通販事業 | シニア女性向け通信販売事業「ことせ」・広告事業等 |

（2）報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額の算定方法

報告セグメントの売上収益、利益又は損失の金額の算定方法について、連結財務諸表との主な調整の内容は以下のとおりです。なお、セグメント情報は、社内の迅速な意思決定に資するため、会計処理の一部について、IFRSと異なる処理を採用しております。

また、セグメント間収益は、市場価格を勘案し、価格交渉の上決定した取引価格に基づいております。

① 代理人取引の相殺消去

当社グループは、広告事業の一部として、法人顧客へ、広告取扱業者への取次を含めたコンサルティングサービスを提供しております。履行義務に代理人として関与する行為が含まれている場合には、その取扱金額は収益より控除されますが、セグメント収益の算定上、総額で記載しております。

② 収益認識時点の修正

当社グループは、通信販売事業を行っております。IFRSでは履行義務を充足した時点、すなわち、顧客に商品を引渡した時点で収益として認識されますが、セグメント収益の算定上、商品の出荷時点で収益として認識しております。

③ のれんの償却

IFRSでは、認識したのれんについて償却を行わず、年に一度又は減損の兆候が存在する場合にはその都度、減損テストを行うことを要求しておりますが、セグメント利益の算定にあたっては連結子会社が会社法上認識しているのれんについて、20年で償却した費用を計上しております。

④ 無形資産の償却

当社は企業結合により、無形資産として顧客関連資産等を認識しております。当該無形資産について見積耐用年数に従って償却が行われますが、セグメント利益の算定にあたっては償却費を計上しておりません。

⑤ 非金融資産の減損による影響

当社は企業結合の際に、全国通販事業セグメントの使用権資産及び無形資産について減損を行っており、IFRSでは当該減損した使用権資産及び無形資産に関連する減価償却費及び償却費が計上されておりません。セ

グメント利益の算定においては、これらの資産にかかる賃借費用及び償却費を計上しております。

⑥ その他調整額

その他には、上記以外の調整項目が含まれております。

(3) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 連結 |
|----------|---------|--------|--------|------|--------|
| | ハルメク事業 | 全国通販事業 | 計 | | |
| 売上収益 | | | | | |
| 外部収益 | 18,765 | 6,611 | 25,377 | △144 | 25,233 |
| セグメント間収益 | 13 | 145 | 159 | △159 | — |
| 売上収益合計 | 18,779 | 6,757 | 25,536 | △303 | 25,233 |
| セグメント利益 | 767 | 97 | 864 | 475 | 1,340 |

連結のセグメント利益は、連結損益計算書上の売上総利益から販売費及び一般管理費を除いた金額であります。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 連結 |
|----------|---------|--------|--------|------|--------|
| | ハルメク事業 | 全国通販事業 | 計 | | |
| 売上収益 | | | | | |
| 外部収益 | 22,022 | 6,866 | 28,888 | △150 | 28,738 |
| セグメント間収益 | 33 | 140 | 174 | △174 | — |
| 売上収益合計 | 22,056 | 7,007 | 29,063 | △325 | 28,738 |
| セグメント利益 | 1,448 | 87 | 1,535 | 505 | 2,041 |

連結のセグメント利益は、連結損益計算書上の売上総利益から販売費及び一般管理費を除いた金額であります。

(4) 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

① 売上収益

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|-------------|--|--|
| 報告セグメント計 | 25,536 | 29,063 |
| 調整額 | | |
| セグメント間取引消去 | △159 | △174 |
| ①代理人取引の相殺消去 | △92 | △90 |
| ②収益認識時点の修正 | △8 | 20 |
| ⑥その他調整額 | △43 | △80 |
| 調整額合計 | △303 | △325 |
| 売上収益 | 25,233 | 28,738 |

② セグメント利益から税引前利益への調整表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度 （自 2021年4月1日 至 2022年3月31日） | 当連結会計年度 （自 2022年4月1日 至 2023年3月31日） |
|----------------|--|--|
| 報告セグメント計 | 864 | 1,535 |
| 調整額 | | |
| ②収益認識時点の修正 | △0 | 9 |
| ③のれんの償却 | 498 | 498 |
| ④無形資産の償却 | △289 | △289 |
| ⑤非金融資産の減損による影響 | 145 | 141 |
| ⑥その他調整額 | 122 | 146 |
| 調整額合計 | 475 | 505 |
| 合計 | 1,340 | 2,041 |
| その他の収益 | 55 | 18 |
| その他の費用 | 37 | 28 |
| 営業利益 | 1,358 | 2,030 |
| 金融収益 | 0 | 0 |
| 金融費用 | 186 | 166 |
| 税引前利益 | 1,172 | 1,864 |

（5）製品及びサービスに関する情報

「（3）報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報」の中で同様の開示をしているため、記載を省略しております。

（6）地域に関する情報及びセグメントごとの資産の金額に関する情報

当社グループにおける売上収益は全て本邦のものであり、また、当社グループの非流動資産は全て本邦にあることから、地域ごとの情報は省略しております。

（7）主要な顧客に関する情報

単一の外部顧客との取引による売上収益が当社グループの売上収益の10%を超えるものではありません。

（1株当たり情報）

（1）基本的1株当たり当期利益の算定上の基礎

| | 前連結会計年度 （自 2021年4月1日 至 2022年3月31日） | 当連結会計年度 （自 2022年4月1日 至 2023年3月31日） |
|-----------------------------------|--|--|
| 親会社の所有者に帰属する当期利益（百万円） | 796 | 1,248 |
| 親会社の普通株主に帰属しない当期利益（百万円） | 0 | — |
| 基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益（百万円） | 796 | 1,248 |
| 加重平均普通株式数（千株） | 8,000 | 8,054 |
| 基本的1株当たり当期利益（円） | 99.51 | 155.05 |

(2) 希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎

| | 前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日) |
|---|--|--|
| 基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円) | 796 | 1,248 |
| 当期利益調整額(百万円) | — | — |
| 希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円) | 796 | 1,248 |
| 加重平均普通株式数(千株) | 8,000 | 8,054 |
| 普通株式増加数 | | |
| 新株予約権(千株) | 434 | 431 |
| 希薄化後の加重平均普通株式数(千株) | 8,434 | 8,486 |
| 希薄化後1株当たり当期利益(円) | 94.38 | 147.16 |
| 希薄化効果を有しないため、希薄化後1株当たり当 期利益の算定に含めなかった潜在株式の概要 | 新株予約権1種類 (普通株式 297,220株) | — |

(注) 1. 当社は2022年8月3日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行いました。2022年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益を算出しております。

(重要な後発事象)

当社は、2023年4月19日を払込期日として、みずほ証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株式367,200株の発行を行いました。その結果、資本金が290百万円、資本剰余金が272百万円増加し、資本金が2,058百万円、資本剰余金が2,285百万円となっております。